

てがたんレポート Vol. 2 No. 8 (2005年8月：通巻17号)

★8月13日のてがたんは雨天のため中止しましたが、一週間前に行った予察の記録をレポートします。

★観察日時/天気：2005年8月6日(土) 10:00~12:00/晴れ

★予察参加者：

- ・ボランティア・スタッフ(敬称略・五十音順)：岡廣志、小野寺喜四郎、加藤文雄、小泉伸夫、米田洋斗、近藤貞彦、近藤尚志、首藤美恵子、弘貫さと子、古川克彌、安野昌彦
- ・鳥博：齊藤安行

テーマ：鳥の繁殖後換羽、
トンボの仲間の観察

観察記録—みんなで観察した生き物リスト—

★鳥

カワウ、カナダガン(外来種)、カルガモ、バリケン(家禽の放鳥)、オオバン、キジバト、カワセミ、ツバメ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス

★昆虫

・チョウ・ガの仲間

ベニシジミ、ヤマトシジミ、アゲハ、アオスジアゲハ(含む卵、幼虫、クスノキの葉に産卵)、ヒメアカタテハ幼虫(食草のヨモギの葉上)、オオスカシバ卵(クチナシの葉に産卵)

・ハチの仲間

キゴシジガバチ(泥で造巢中)、フタモンアシナガバチ

・トンボの仲間

ノシメトンボ、ウスバキトンボ、コシアキトンボ、シオカラトンボ、ウチワヤンマ、アジアイトトンボ

・セミ・カメムシ・アメンボの仲間

アブラゼミ、ミンミンゼミ(声)、ニイニイゼミ(声)、カメムシの一種、アメンボの一種

・バッタ・コオロギ・カマキリの仲間

ショウリョウバッタ成虫、オンブバッタ、ヒシバッタ、イポバッタ成虫と幼虫、クルマバッタモドキ褐色型と緑色型、ノミバッタ、ハネナガヒシバッタ、エンマコオロギ幼虫、タンボコオロギ(声)、マダラスズ(声)、シバズ(声)、キンヒバリ(声)、カネタタキ幼虫(博物館内)

・コガネムシの仲間

マメコガネ

★魚

メダカ、ヨシノボリ、ヌマチチブ(博物館で捕獲して確認したら二種混ざってました)

★エビ・カニの仲間

エビの仲間(テナガエビ?、噴水展望台やや上流の手賀沼への排水口)

★カエルの仲間

ニホンアマガエル、ウシガエル(声)、ウシガエル(幼体)

★その他

・ミミズ(環形動物、水の館裏の田んぼ脇の水路の浅瀬の中)

★咲いていた花

ポタンクサギ(植栽)、クチナシ(植栽)、ハルシャギク(植栽)、ヒマワリ(植栽)、オオキンケイソウ(植栽)、モミジバアオイ(植栽)、オオニシキソウ、コバノギボウシ(植栽?)、ヘクソカズラ、オヒシバ、メヒシバ、シマスズメノヒエ、イヌヒエ、ニワゼキショウ、ツユクサ、オモダカ、コナギ、アゼナ、イネ(栽培作物)、トキンソウ、ヒメムカシヨモギ、ヤブガラシ、トキワハゼ、カヤツリグサ

★立ち止まって観察した植物

シャジクモ

* リストの生き物の名前は順不同です

8月の観察アルバム

8/13日は、大雨のためてがたんは中止しました。
8月6日の下見の時観察した生き物を
並べてみました。

クスノキの葉に
アオスジアゲハの
卵と幼虫が・・・



クサネム



オオミノガ



アカバナの葉が
赤くなってました



ウシガエルの
オタマジャクシ
(この姿で冬を越す)



ポタンクサギの花は
よい香りです



金色の種を吐き出す
吐金草 (トキンソウ)



クチナシの葉に
オオスカシバの卵が・・・



手賀沼で年中みられる
夏留鴨 (カルガモ)



クルマバッタモ
ドキ (緑色型)



エンマコオロギ
幼虫



ヒシバッタ



金属光沢のある
ノミバッタ